今年発表した一ばん好きな自作について

牧野信一

青空文庫

今年発表した作品のうちでは次の三篇に幾分の好意を感ずる。小林君と河上君の言葉を覚へてゐる。

ラガド大学参観記

吊籠と月光と

歌へる日まで（西部劇通信、アウエルバツハの歌）

以上は相通ずる意味を持つものであり、またその他単独のものを幾つか発表したが、特に好き嫌ひを区別することは困難である。

青空文庫情報

底本：「牧野信一全集第四巻」筑摩書房
　2002（平成14）年6月20日初版第1刷発行
底本の親本：「作品　第一巻第八号（十二月号）」作品社
　1930（昭和5）年12月1日発行
初出：「作品　第一巻第八号（十二月号）」作品社
　1930（昭和5）年12月1日発行
※底本編集時に付されたと思われる、表題冒頭の「●」は省きました。
※「今年発表した一ばん好きな自作について」と題したアンケートへの、回答です。
入力：宮元淳一
校正：門田裕志
2011年8月1日作成
2016年5月9日修正
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

今年発表した一ばん好きな自作について

牧野信一

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/